



■ 学習発表会の当日が迫ってきました

校長 石川 拓

11月16日(土)までの授業日は9日間です。展示と舞台発表の準備が進んでいます。当日お配りしますプログラムの冒頭に次のように書きました。



『鑑賞いただく作品や表現の一つ一つに、児童・生徒の毎日の学習の積み重ねが、ぎゅっと詰まっています。』

目の前に見える景色だけではなく、今日の景色を生み出している、地道で大切な毎日の学習を想像していただけたら嬉しいです。』

ぜひお越しいただき、児童・生徒を励ましていただければ幸いです。

■ 副籍交流・学校間交流のこと

副籍交流や学校間交流で、実際に会って交流する前に学校間をオンラインでつないで交流する試みを始めました。



写真は高島第五小学校2年生と本校2年生のオンライン事前交流の様子です。お互いの学年や学級の雰囲気と、当日の活動を事前に知ることが出来るので良い取組みになったと感じました。

副籍交流でも同様の取り組みを試行しています。

東京中部地域にある都立学校を支援する「中部学校経営支援センター」と協力して、こうした特別支援教育の理解啓発推進のために、特別支援教育通信「輪(わ)」という記事をXにポストしています。各校の特別支援教育に関する広報の場です。

ぜひ以下のリンク先にお立ち寄りください！

https://x.com/chubu_cs/status/184926065724

 中部学校経営支援センター 特別支援教育通信 輪(わ)	
学校名 『都立高島特別支援学校』	
1	内容 都立高島高等学校の部活動発表を通じた交流へ向けた打合せ
2	活動の様子 日： 令和6年10月7日(月) 場： 本校体育館 参加者： 都立高島高等学校 パトントワール部の部員と顧問 内容は、隣接する都立高島高等学校と50年を交えてきています。毎年、本校の児童・生徒は、高校の部活動発表会に参加して見学しています。今回は、令和6年10月28日(月)、パトントワール部とダンス部が、本校中幹部を対象に演目を披露してくれました。その日合わせて、会場の副都立パトントワール部の生徒たちが本校へ報告してくれました。そこで、高校生たちと本校へ報告について知ってもらったため、本校交際担当教員がスライドを用いて予備紹介を行いました。

■ デジタル・支援技術活用情報

学校経営計画の【4 専門性向上】項目の中に、【(3) 科学的で多様な指導】の計画を掲げてICTや支援機器の導入を進めています。

学校は次年度の予算編成作業に入っています。

ICT・支援機器アドバイザーの外部専門員の助言を受けて、テクノロジー活用を進める部署の教員たちが、次年度に導入・購入する機器等を選定しています。予算は未決定ですけれど数点ご紹介します。

(1) 見通しタイマー リセティア(resetea)

<https://www.youtube.com/watch?v=zNkf24KrLiU>

デジタルタイマーやアナログ時計の秒針を読み取ることが難しい子どもたちが、視覚的に活動の始まりと終わりを理解することを助けます。※この機器は既に購入・活用中です。

(2) インクルーシブ教育向け学習システム(COSMO)

<https://www.youtube.com/watch?v=6Z8JcXWkYJo>

夏の教員向け研修でCOSMOのデモンストレーションを体験しました。アイデア次第で様々な学習や行動調整等にも活用できそうです。

(3) iPad用の教育ゲームシステム オズモ(Osmo)

<https://www.youtube.com/watch?v=arp50fSKkJc>

日々の学習を充実できるように一人一台端末で活用できるアプリケーションを充実させていきます。

■ 外部専門員活用に関するお願いです

学校便り5月号に記載の関連記事も合わせてお読みください。

<https://takashima-sh.metro.ed.jp/site/zen/content/200001288.pdf>

教員の専門性向上を学校経営の最重要課題と考えて外部専門員の活用促進を進めてきました。

外部専門員の中には、PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)、ORT(視能訓練士)、歯科医といった医療専門職の方々が複数名います。

これらの外部専門員の方々の中には外部の医療機関にご所属の方もおられて、本校に外部専門員として来校して教員を育成するために、お子さまのアセ

メントをもとに、具体的な指導方法を助言する過程で、**結果として医療機関の受診につながったケースがあります。**学校の取組みを通して、児童・生徒とご家族の生活を支える外部機関とつながりを持ってたことは成果の一つと考えています。

一方で、医療機関等の外部機関でお子様を担当されている医療専門職の方が、本校に外部専門員として来られている場合に**保護者様から学校でもお子様を特定の外部専門員に見てほしいとのご要望が寄せられることがあります。**外部専門員活用の趣旨は教員の専門性向上です。**校内で診断・診察・診療のような目的での活用はできません。**次の対応を基本としております。

【学校便り 5月号から抜粋・再掲】

『外部専門員は、教員の専門性向上を図る職です。外部専門員の指導助言の対象は「教員」です。』

①担任から保護者の皆様への説明

外部専門員活用を計画している場合には担任が指導助言を受ける目的と内容を事前にお伝えします。外部専門員活用後には指導助言の結果や経過を報告します。

②外部専門員による児童・生徒へのアセスメント等の結果の取扱い

教員の育成を目的にしたアセスメントであるため、次のように対応いたします。

ア：外部専門員が作成したアセスメント等の資料原本(写し含む)を直接保護者に見せたり渡したりすることはいたしません。

イ：アセスメント内容の保護者への説明は、担任が保護者と共有すべき部分を整理して資料化し、あるいは口頭で共有します。

③外部専門員の活用場面の保護者見学の取扱い

原則として、外部専門員による観察・指導・助言 そのものの見学希望はご遠慮ください。』

以上、東京都の「都立特別支援学校知的障害教育外部専門員設置要項」に基づく対応です。

ご理解とご協力をお願いいたします。

■「学校だより」「情報発信」をよりよくするためのアンケート調査へのご協力を感謝申し上げます

10月2日にさくら連絡網にて任意での回答にご協力を願いました。1週間程度の短い調査期間に62人の保護者様に回答をいただきました。回答内

容は10月16日(水)に職員連絡会の中で校長から説明し教職員間で共有いたしました。Formsで調査いたしましたので、自動集計されたご回答の全文を教職員がいつでも閲覧できるようにしました。



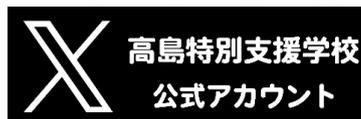
情報発信内容への感想・意見や具体的な改善案などをご提案いただきました。情報発信充実に向けた取り組みへの励ましや、教員の負担を心配いただく声もお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

主な回答内容を掲載いたします。

- 写真を掲載してほしい
- 行事だけでなく、日常の授業・子供の様子が知りたい
- 好意的コメントの有った記事の例
 - ・水泳指導 ・移動教室
 - ・乗車学習 ・校外歩行
 - ・消防署見学 ・防災訓練 ・不審者訓練
 - ・教材や支援機器 ・生活単元学習 ・作業学習
- 写真があると子供と意思疎通しやすくなる

早速、幾つかのご意見を取り入れさせていただきました。お子様との意思疎通のツール(道具)の一つになっていますとのご感想が複数あり、日々の教育活動の伝え方について、考える機会となりました。

※Xのフォローを引き続きお願いいたします。



■「学校評価」にご協力ください！

主幹教諭 菅井 郁

学校評価では学校経営計画の重点である以下5点について、保護者様、児童・生徒のみならず、学校運営連絡協議会委員、教職員がアンケートに基づく評価を行って、学校経営を改善するために実施します。



【令和6年度学校経営の重点】

- 1 「人権尊重」の精神を体現
- 2 「安全・安心の確保」
- 3 「教育の専門性向上」
- 4 「共生社会の実現」
- 5 「校務改善・学校魅力化」

アンケートに回答いただくこと自体が令和6年度の学校経営を知っていただく機会になります。

昨年度の学校評価を受けて、今年度の学校経営計画には改善策として大きく分けて4つの取組みを記載して進めています。

- 1 共生社会実現・インクルーシブ教育推進
オンライン活用を含めた副籍交流・学校間交流、地域への理解充実など
- 2 ICT 機器活用による教育の充実
- 3 安心・安全な学校作り
人権感覚向上への取り組み充実、子どもの主体性や気づきを大切にす指導への転換など
- 4 特別支援教育の説明力・情報発信力向上

今年度のアンケート結果につきましても、分析後に行った後に保護者様にお伝えすると共に、令和7年度以降の学校経営計画に必ず反映させてまいります。共に学校を良くするという視点でご協力ください。

学校評価の実施方法は「さくら連絡網」にてお知らせし、Formsによる電子回答といたします。

評価期間：10月31日(木)～11月15日(金)

多くの保護者の皆様からのご意見をいただくために、未回答の方に再度ご連絡する都合から、**回答時にご記名くださいますようお願いいたします。**

ご記名いただいたお名前はアンケートを集約・分析する担当者と校長、副校長以外は共有しません。

学校評価がまとまった2月には学校運営連絡協議会の評価委員の皆様にも、**職員連絡会にて教職員に直接ご提言をいただきます。**評価委員にはPTA代表者、大学教員、元特別支援学校校長の3名の方を委嘱しております。3月全校保護者会では学校評価結果を反映した次年度学校経営計画について校長からご説明いたします。

保護者の皆様の貴重なご意見をお寄せください。ご協力をお願いいたします。

■ 一泊二日宿泊防災訓練を実施しました。

生活指導部主任 主幹教諭 佐藤 しほ

10/18日(金)19日(土)に一泊二日宿泊防災訓練を実施しました。災害や緊急事態が発生した際、学校で避難生活を送る練習の機会となりました。

訓練には中学部2年生28名が参加しました(夕食

まで参加3名)。訓練の内容は以下の4つです。

①	消防署員による防災学習
②	避難所設営の一部を体験(毛布、水運び)
③	非常食の喫食(夕食:カレーライス、朝食:ライスクッキーとブラウンシチュー)
④	停電下での行動体験(暗闇体験:体育館内でオリエンテーリング)

今年は4年ぶりに都立高島高校の生徒会の方2名が手伝いに来てくれました。毛布と水を倉庫から教室まで運ぶ作業と一緒に体験しました。



停電下での暗闇体験

高島高校生徒の皆さんは「隣の学校のみなさんと関わることができて良かったです。」「貴重な体験

ができました。」と感想を述べていました。短時間ではありましたが一緒に訓練を体験することができ、発災時の備えとしても、交流としても良い機会になりました。高島高校とは、今後様々な取組みを充実させていく予定です。



高島高校生徒との避難所設営体験

併行して防災教育推進委員会にて防災に関する協議会を開催しました。

4人の委員の方々にお越しいただきました。

- ①高島平三丁目自治会長
- ②志村消防署高島平出張所所長
- ③板橋区地域防災支援課地域支援係長代理
- ④高島平警察署生活安全課少年係長

2時間かけた視察と協議に参加をいただきました。宿泊防災訓練の一部の活動と、校内備蓄倉庫見学の後、主に次の観点で協議しました。

【主な協議内容】

- ①板橋区の福祉避難所、備蓄品等
- ②本校防災備蓄倉庫(自家発電設備、備蓄品等)
- ③本校の福祉避難所開設に伴う校舎提供プラン

9月の学校だよりに掲載いたしました福祉避難所設営時の校舎提供プラン(案)を作成いたしました。



夕食の準備

実際に防災委員の方々には福祉避難所となった場合に提供するエリアを資料と共に見学していただき意見交換をしました。現在、板橋区防災危機管理課と協議中です。課題等を精査した後に保護者の皆様にあらためてご説明いたします。

11月2日(土)には高島平自治会の合同防災訓練に本校管理職も参加します。地域の皆様と協働して防災に取り組んでまいります。

■ 小学部・中学部の校外活動特集!

校外学習、乗車学習、社会見学、移動教室、修学旅行について

1 小学部 小学部主任 主幹教諭 藤井 夢

小学部では、1年生から6年生までの校外活動を以下のように取組んでいます。

- 1年「校外学習」城北交通公園(スクールバス)
- 2年「乗車学習」城北交通公園(都営三田線)
- 3年「乗車学習/お弁当」城北交通公園(都営三田線)
- 4年「社会見学」ロッテ浦和工場
- 5年「移動教室」わくわくビレッジ、HAGUHAGU
- 6年「移動教室」わくわくビレッジ、多摩六都科学館「卒業遠足(修学旅行)」サンシャイン水族館

小学部低学年は、城北交通公園に行っています。行先は、同じですが、学習のねらいや学習内容を変えて、学習を積み上げています。



城北交通公園

城北交通公園は、家族で行ったことがあるお子さんがいたり、人気のあるバスや蒸気機関車があったりと、イメージをもちやすい公園です。

2年生の事前学習では「(城北交通公園に設置されている)バスに乗りたい。」と、明確な意思をもってやりたいことを発表し、当日を楽しみにしているお子さんの様子がありました。知っている場所で安心して活動できることも、大切な要素の一つです。

1年生は、スクールバスを利用しますが2年生と3年生は都営三田線への乗車学習に取り組めます。2年生で、初めて電車に乗るお子さんがいることや、3年生でも「学校の乗車学習のほかは、電車は利用していない」と、ご家庭からお話をいただくケースがありました。初めて乗った電車に目を輝かせて、電車が大好きになったお子さんもいます。車社会の

便利な時代ですが、お子さんの経験を広げるためにも乗車の機会は大切と考えます。ご家庭でも、お出かけの際に電車を利用する機会を作ってみるのもよいですね。お子さんの違った表情に出会えることと思います。



4年生は、社会見学としてロッテ浦和工場に行っています。ロッテ浦和工場では、ふだん食べているおかしは、どこから来ているの?安全・安心な食べ物、どう作られているの?そんな疑問を「お菓子の学校」の中で学べる工場施設です。



ロッテ浦和工場

大好きなおやつについて知るために、事前学習では粘土を使ってマカロンを作ったり、どんなお菓子があるのかを調べたりする学習も行いました。当日はお菓子のできる工程に興味津々で、お土産もいただき、楽しい学習の一日となりました。

自分で考えること、目的意識をもって学習に向かうこと、年齢が上がるごとに自分でできることが増え、自信をつけていく子供たちの様子を実感しています。6年間で年齢に合った力を身に付け、中学部につなげていきます。

5年生と6年生は1泊2日の移動教室を実施します。(6年生宿泊の様子は、学校便り7月19日号をご覧ください。)

10月24日、25日に実施した5年生の移動教室の様子は、学年便りとXの記事にてお伝えします。卒業遠足(修学旅行)は12月に実施の予定です。

2 中学部 中学部主任 主幹教諭 竹田 憲功

(1) 中学部3年 修学旅行 山梨県河口湖方面

中学部3年生は9月25日(水)~9月27日(金)の2泊3日で、山梨県河口湖方面へ修学旅行に行ってきました。美しい自然と豊かな文化に触れ友達と一緒に思い出をつくることができました。



1日目は、最初の目的地でもある、河口湖岬の「みはらし亭」です。

ここでは、平打ちの太い麺と季節の野菜がたっぷり

り入った温かい山梨の郷土料理「ほうとう」を食べました。「甘い」、「美味しい」という声がたくさん聞こえてきました。

昼食後は、「富士湧水の森水族館」へ移動です。富士湧水の森水族館は、透明度の高い富士の湧水が育む、淡水魚専門の水族館です。溪流の魚たちが泳ぐ景観は、何とも言えない清涼感がありました。淡水魚や珍しい水生生物の観察を通じて自然の大切や水の環境について学ぶ貴重な機会となりました。



2日目は、日本でも有名なテーマパーク富士急ハイランドです。絶叫系のジェットコースターやゆっくりとしたアトラクションが多くあるトーマスランドなどあります。グループ分かれて相談しながらアトラクションを決めました。生徒たちにとって思い出に残る楽しい時間を過ごせました。



3日目は、「日本一のフルーツの里 浅間園」へぶどう狩りに行きました。頭上に広がるぶどうをその場で収穫して食べることは殆どの生徒が初めてです。採れたての新鮮なぶどうの味に「美味しい」、「もっと食べたい」等の歓喜の声が農園中に響いていました。



修学旅行を通して普段できない体験を満喫することができました。

(2) 中学部2年 社会見学 鉄道博物館

中学部2年生は10月4日(金)に社会見学で埼玉県にある鉄道博物館に行ってきました。鉄道博物館は、学びと楽しさが共存していました。

社会見学のねらいは次の2点です。

- ①公共の施設内でのマナーやルールを守り、行動すること。
- ②いろいろな体験をしたり、施設等を見たりして興味、関心を広げること

巨大ジオラマの鑑賞では、リアルに再現された街並みの中を小さな電車が走る様子が表現されていました。見ているとまるで小さな世界に入り込んだよ

うな気分になりました。

シミュレーター体験では、列車を運転しているような感覚を体験でき、運転士の視点から鉄道の動きを学びました。



展示見学では昔の列車から最新の新幹線まで様々な車両がそろっているの

で鉄道の歴史を一気に感じることができました。当日は、多くの来場者が来館していました。他の団体の方と譲り合って気持ちよく過ごすことができました。



(3) 中学部1年 移動教室 神奈川県横浜方面

中学部1年生は10月10日(木)~11日(金)の1泊2日で、神奈川県横浜方面へ移動教室に行きました。神奈川県の風土・歴史・文化に触れ友達と協力しながら様々な体験することができました。

1日目の最初の目的地は、「カップヌードルミュージアム」です。マイカップヌードルファクトリーでは、世界で一つだけのオリジナルのカップヌードルを作りました。自分のデザインしたカップにお好みのスープを決めトッピングをしました。生徒たちは、出来上がったカップヌードルを大事そうに持っていました。



昼食後は、横浜を象徴する観光名所の一つである「横浜マリンタワー」です。高さ106メートルの展望台から美しい港やベイブリッジなど絶景を楽しむことができました。360度ガラス張りの展望台で横浜の景色を一望できました。



2日目は、「八景島シーパラダイス」です。ダイナミックなイルカショーに生徒たちは釘付けでした。

移動教室を通して新たな発見やたくさんの感動を見つけることができました。

令和6年度 11月行事予定

スクールバス発車時刻 短縮便 11:40 1便 13:55 2便 15:35

日	曜	全校行事	小学部	中学部	保健
1	金	開校記念日			
2	土				
3	日	文化の日			
4	月	休日			
5	火	安全指導日			体重測定(中)
6	水	避難訓練(地震)			
7	木				体重測定(小4~6)
8	金				体重測定(小1~3)
9	土				
10	日				
11	月	学習発表会 予行練習			
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土	学習発表会	小学部 1便下校		
17	日				
18	月	振替休業日			
19	火	学習発表会 予備日			
20	水				
21	木	月曜日時程			精神科健康相談
22	金		小3 高三小交流		
23	土	勤労感謝の日			
24	日				
25	月				
26	火		小4 起震車体験	中1 起震車・煙体験	
27	水			中3 高等部見学(板橋特支)	
28	木		小5 高三小交流		
29	金				
30	土				